



▲各小中学校ではカマクラ集会や天筆焼きなどが行われました。(写真は、カマクラ集会で「ミニ竹うち」に挑戦する六小児童)



▲カマクラ畑で風にたなびく天筆。



▲願いが込められた天筆は、子ども達や観光客の手によって燃やされ、空高く舞い上がりました。

国指定重要無形民俗文化財

六郷のカマクラ

2月11日から15日までの5日間にわたり、国の重要無形民俗文化財に指定されている「六郷のカマクラ」が行われました。

2月とは思えない暖かい日が続ぎ、少なからず天候の影響があった今年のカマクラ行事。しかし、最終日15日には、昼頃からの雨が次第に雪へと変わり、一連の行事を締めくくる「竹うち」は、打ち手と観客の熱気に空が刺激されたのか、降りしきる雪の中の戦いとなりました。

結果は、南軍の優勢勝ちとなり、「米の値が上がる」と言い伝えられています。



▲最優秀賞を受賞した旭町町内会の「雪宮」。

雪宮・鳥追い小屋コンクール

最優秀賞 旭町町内会

優秀賞 新町町内会、大町町内会

努力賞 西高方町町内会、本道町町内会、東高方町町内会、
荒町町内会、上鍵田町町内会



◀豊作を祈願する「まゆ玉」を作る本道町町内会の子ども達。

3つの酒造店で行われた「蔵開き」には町内外から観光客が訪れ、造りたての日本酒を楽しみました。



◀ALTのデイビッドさんが、新町町内会でもちつきを体験。竹うちにも参加するとのことでした。



▲「六郷のカマクラ」の最後を飾る「竹うち」。今年も壮絶な打ち合いが繰り広げられました。